

## 議事録

令和5年5月24日

宮崎県子ども若者総合相談センター わかば 打ち合せ（青少年育成委員会 河野、内門）

場所：宮崎県庁 10号館 1階

担当：センター長 假屋さん、ヤングケアラー・コーディネーター 島田さん

河野：メインアワーの趣旨を説明。色々と調べていく中で、わかばさんにたどり着きまして、話を伺いにあがりました。日頃はどのような相談が多いのでしょうか。

假屋：子どもというよりも、実際は親からの相談が多いです。また、人間関係に対する悩みが多く、多くの場合は、ある程度話したらすっきりして帰られることも多い。最近の取組みとしては、「ヤングケアラー」に対する支援をしています。内容をお伺いする限り、ヤングケアラーに対する周知と考えたほうが良いと思います。

内門：今回登壇頂く予定の、心の相談室の先生も、ヤングケアラーについて話されておりました。自分たちが子どもの頃も、そのような状態の子たちはいたかもしれませんが、言葉はここ最近知りました。

假屋：私たちも、周知活動をして、実際に悩んでいる子たちを見つけて支援したいと考えているが、なかなか本人から相談があることは稀な状況です。また、まわりも気づきにくい。

河野：実際に支援したケースはあるのでしょうか。

假屋：あるにはありますが、まだ数は少ないのが現状です。この島田さんも、今年の4月から着任され、一緒に周知活動をしています。

河野：ヤングケアラーの周知ももちろんですが、実際の支援例をお話いただけると、参加者の方も勉強になると思います。

假屋：そうですね。ヤングケアラーの周知映像もありますし、そういったものを含め、登壇を検討させてください。私たちが、県の子ども家庭課の管轄になりますので、一度相談に行かれると良いかと思います。

河野：早速訪問してまいります。本日はありがとうございました。